

科目名	卒業制作						年度	2026	
英語科目名	Graduation production						学期	後期	
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻 3年次	必/選	必	時間数	360	単位数	12	種別※	実習
担当教員	木村剛/大山敏弘/伊藤洋平		教員の実務経験	有	実務経験の職種	プロダクトデザイナー/カーデザイナー/木工家具作家			
【科目の目的】 この科目では、各自またはゼミのテーマに基づき3年間のまとめとしての作品を制作する。卒業制作は、あくまで社会のニーズにもとづくもの、あるいは社会の問題・課題を改善するものを、調査・考察し、具体的な企画案を提案し、企画にもとづくツールやモックを制作し、広く一般に向けてプレゼンテーションすることを目的とする。									
【科目の概要】 各自またはゼミのテーマに基づき3年間のまとめとしての作品を制作します。									
【到達目標】 デザイナーとしてキャリアをスタートさせるために必要な、調査力、考察力、企画力、プレゼンテーション力、モノを作るための技術力や表現力、そしてこれら全体を含むプロジェクトを管理(マネージメント)する力を身につけることも目標とする。この中のどれかひとつが長けているのではなく、あくまでバランス感覚に優れたデザイナーになるため、すべての工程において成果を出すよう取り組むこと。									
【授業の注意点】 学生は各回ごとに必要な資料をアナログまたはデジタルデータで準備すること。調査、取材などの日程が授業と重複する場合には、実施前日までに担当教員の許可を得ること。授業時限数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	要望に応える制作技術を理解し、十分に活用して丁寧に制作している	要望に応える制作技術を理解し、丁寧に制作している	要望に応える制作技術を理解し、制作している	要望に応える制作技術を理解しているが、形として不十分	要望に応える制作技術の理解が不足している				
到達目標 B	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った効果的な表現ができる	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った表現ができる	課題条件に合わせた思考と表現ができる	課題条件に合わせた思考はしているが表現が不十分	課題条件の理解が不足し、思考と表現が不十分				
到達目標 C	多くのアイデアをもとに、リサーチや内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに、デザイン内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに制作はできるが、デザイン内容の修正が不十分	アイデア、デザイン内容の検証、修正が不十分				
到達目標 D	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない				
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができない時がある	自分の作品を言語化して説明することができない				
【教科書】 特になし									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 課題完成度50% 提出課題完成度を総合的に評価する。 リサーチ20% 制作準備と過程を評価する。 相談検証20% 制作過程で適切なディレクション受答ができたか評価する。 プレゼン10% 制作物の発表方法、内容について評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		卒業制作			年度	2026
英語表記		Graduation production			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス及び各自テーマ発表	各学生にテーマおよびリサーチ内容を発表させる	1 企画アイデアを提案	企画アイデアを提案し、取り組むべき「課題」を導き出す	2	
			2 リサーチ内容再検証	「課題」に基づき、市場調査を行い、ターゲットの動向を把握する		
			3 企画計画書作成	企画計画書を、必要なビジュアル用いながら具体的に、わかりやすくする		
2	ラフデザイン	アイデア展開	1 コンセプト検証	調査内容を反映し、企画デザインをよりよく積み上げていく	2	
			2 スケッチ及びモック制作	「課題」を改善するツールやモックのビジュアルを作成し、完成形がわかるものを制作する		
3	ラフデザイン	アイデア展開	1 コンセプト検証	調査内容を反映し、企画デザインをよりよく積み上げていく	2	
			2 スケッチ及びモック制作	「課題」を改善するツールやモックのビジュアルを作成し、完成形がわかるものを制作する		
4	ラフデザイン	アイデア展開	1 コンセプト検証	調査内容を反映し、企画デザインをよりよく積み上げていく	2	
			2 スケッチ及びモック制作	「課題」を改善するツールやモックのビジュアルを作成し、完成形がわかるものを制作する		
5	中間プレゼンテーション準備	中間プレゼンテーション準備をする	1 中間プレゼンテーション準備	中間プレゼンテーション準備をする	2	
			2 スケッチ及びモック制作	調査内容を反映し、企画デザインをよりよく積み上げていく		
			3 スケッチ及びモック制作	「課題」を改善するツールやモックのビジュアルを作成し、完成形がわかるものを制作する		
6	中間プレゼンテーション	中間プレゼンテーション	1 中間プレゼンテーション	中間プレゼンテーションし、講師の指摘を受け止め、改善点を導き出す	2	
7	中間プレゼンテーションフィードバック検討	中間プレゼンテーションフィードバック検討	1 評価・改善	「課題」が的確に表現できているのか、教員と共に検証作業をする	2	
8	最終提案デザインまとめ	アイデア展開	1 評価・改善	「課題」が的確に表現できているのか、教員と共に検証作業をする	2	
9	最終提案デザインまとめ	アイデア展開	1 評価・改善	「課題」が的確に表現できているのか、教員と共に検証作業をする	2	
10	最終提案デザインまとめ	アイデア最終検証	1 評価・改善	「課題」が的確に表現できているのか、教員と共に検証作業をする	2	
11	最終提案デザインまとめ	アイデア最終検証	1 評価・改善	「課題」が的確に表現できているのか、教員と共に検証作業をする	2	
			2 CADデータ作成	3Dデータ作成		
12	プロトタイプ制作	プロトタイプ制作	1 プロトタイプの制作	検証作業を経て、作品を修正し、期限までに作品を完成させる	2	
			2 CADデータ作成	3Dデータ作成		
			3 CADモデルプリントアウト	CADモデルプリントアウト		
13	プロトタイプ制作	プロトタイプ制作	1 デザイン最終検討	検証作業を経て作品を修正し、期限までに作品を完成させる	2	
			2 CADモデル仕上げ	CADモデルをの最終仕上げを行う		
14	最終プレゼンテーション準備	モデル仕上げ ボード作成 プレゼン準備	1 モデル塗装仕上げ	説得力のある模型を丁寧に仕上げる	2	
			2 プレゼン資料制作	理解しやすいビジュアルのプレゼン資料を制作する		
			3 プレゼンボード作成	2Dグラフィックソフトを使用し、A1サイズのボード2枚基準で作成		
15	最終プレゼンテーション	最終プレゼンテーション	1 最終プレゼンテーション	最終プレゼンテーションし、講師の指摘を受け止め、卒制展にむけ展示方法等の改善点を導き出す	2	
			2 ボード作成時の注意点確認	展示会に向け作業工程を再確認する		
			3 展示計画検証	展示会に合わせ、展示計画やツールを検証し、制作する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等